

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

May / 12 / 2017 # 50

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『吹奏楽』

[2] Pepeのひとりごと

『この方法、知ってました?』

[3] おすすめ動画

『The Bone Society - Air - Johann Sebastian Bach - Håkan Björkman』

『Roland Szentpáli: Pearls II.』

[4] 演奏のヒント！

『タンギングの練習』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『吹奏楽』

今年の3月から今月まで、これまでにないペースでいろいろなコンサートを聴いています。

ちょうどタイミングが合うことが多かったり、オーケストラが忙しくない時期だったこともあってのことなのですが、いろいろとそれら全てから吸収しています。

僕はヨーロッパにいたときにも吹奏楽での演奏はよくしていましたが、

演奏レヴヴェル以外のところでの違いというのもけっこうあって、それらのことを再確認することもできました。

何にせよ、『音楽』をすることができると楽しいですね！

これからの季節、吹奏楽コンクールへ向けての活動が本格化してくると思いますが、どの団体も『音楽』を創る作業から脱線しないようにしてもらいたいと切に願います。

僕自身も、『音楽』をしっかり堪能して過ごしていこうと思います！！：)

[2] Pepeのひとりごと

『この方法、知ってました？』

今日はひとりごとというか、先日あった出来事について。

少し前、音楽大学受験生（Euphonium）のレッスンの後に、質問を受けました。

そのときの質問はこういうもの。

『水抜きのために4番管を抜くとき、4番ピストンを押さえる代わりに1、2、3番ピストンを半押しの状態にして抜いてもいいんですか？』

ほうほう。：)

僕自身は思いつかなかった方法ですが、たしかに、コンペンセイティングシステムの楽器を使っている人は、この方法でも4番管を真空状態にしないで抜くことができますね！！：D

僕自身は4番ピストンを押さえて抜く動作がもう体に入っているので代えることはないと思いますが、興味のある人、または

「この方法、イケてるね！！」と思う人はやってみてはどうですか？（笑）

別にオススメするわけではありませんが、1番管や2番管を抜くような感覚で4番管を抜くことができますよ～（笑）。；)

[3] おすすめ動画

『The Bone Society - Air - Johann Sebastian Bach - Håkan Björkman』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=Zo8zDYmWX4M&index=15&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

[v=Zo8zDYmWX4M&index=15&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg](https://www.youtube.com/watch?v=Zo8zDYmWX4M&index=15&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

今月1つ目の動画は、先月載せようと思っていたけど急遽白水さんの動画と差し替えになったことです。

演奏は、僕がいろいろな面で刺激を受けた名奏者、ストックホルム放送響、首席トロンボーンのHåkan (Björkman氏) です。

この曲をソロで演奏するのはとっても大変なのですが、僕が注目してもらいたいのは、この曲を循環呼吸を使いながら演奏している点です。これ、口への負担は半端ではないと思います (汗)。

このくらいのスタミナが欲しいなあ、とこの動画を見ながら思いました。:)
あと、こういうシビアな曲でも循環呼吸を使いながら演奏できるようになりたいなあ、とも思いました。
練習頑張ろっと！ ;)

『Roland Szentpáli: Pearls II.』

<https://www.youtube.com/watch?v=Tk1cTv2nvg0&index=1&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg>

2つ目の動画もTromboneです。:)

僕もEuphoniumで演奏したことがある曲、「Pearls II」です。

作曲は、僕の親友の1人、Roland (Szentpáli氏) です！ :D
演奏も友達の演奏なのですが、今やスローカー・カルテットのメンバーとして有名となったGyörgy (Gyivicsán氏) です。

もともとはピアノ伴奏として書かれた曲なのですが、ここではオーケストラ伴奏で演奏しています。

この曲、すごく大変ですが「Cool」です！！
チャレンジ精神のある人は、ぜひやってみてくださいね～！ :D

[4] 演奏のヒント！

『タンギングの練習』

今月はタンギングの練習について、ひとつポイントを。

よくタンギングの練習で使われるパターンに、音価を少しずつ小さくしていく練習がありますよね (2分音符ー4分音符ー8分音符ー3連符ー16分音符という感じで)。

この練習をする上で注意をしてもらいたいことがあります。
それは、『息を吸うタイミング』です。

テンポにもよりますが、よくあるパターンとして3連符や16分音符（音価の小さくなった＝速いタンギング＝）の直前に息を吸うことが多いのではないかと思います。

タンギングをする上で息はたくさん吐くことが必要なので、息を吸うこと自体はとても重要なのですが、速いタンギングの直前に吸うと、身体に力が入ってくる人が多いんです。

なので、僕からの注意ポイントとして、ブレスは小節線（音価の変わるタイミング）『以外』でやるようにしてみてください（1拍音を抜いて、1拍の時間を使ってブレスを取るようにしてください）。

そうすると、ブレスを取ることによる力みを避けて、タンギングの練習に取り組むことがやりやすくなりますよ。 :)

速いタンギングの練習をするときは、その少し前に息をしっかり吸ってからやることを、いつも忘れないで下さいね！

来月も、タンギング練習についてのポイントを書こうと思います。

編集後記

珍しくこの春はオーケストラにお休みが続いていて、いろいろと普段できないことをすることができました！

パソコンの中の整理や部屋の片付け、自分の練習などがしっかりできて、いろいろとスッキリしました～！ :D

でも、今月からはハードな生活のスタートです。
これから約10ヶ月ほどはハードな日々が続く予定・・・。

僕は、先月40歳になりました。
ムリをしないように休息のとり方を工夫して、これからも毎日元気に、充実した日を過ごしていこうと思っています。 :)

これからもよろしくお願いします！！ :)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』
のバックナンバー、配信停止はこちら
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>